

7/2～7/8 までシドニー国際会議場（オーストラリア）で開催されたロボカップ世界大会 2019 の結果をご報告致します。出場したサッカー小型リーグディビジョン A（上位クラス）の結果は 8 位（昨年同相当）でした。以下、大会の詳細をご紹介します。

1（月）午後名古屋を出発し、2（火）早朝、南半球オーストラリア最大の人口を有す都市シドニー着。朝の外気は肌寒いが、陽が射せば半袖でも過ごせる気候。会場到着早々にロボットの調整を開始。フィールドサイズ 12m×9m に対して従来 8 カメラで対応していたビジョンシステム（フィールド上空に設置するカメラ）が、今年から解像度の高いカメラ 2 台と広角レンズの仕様に変更されました。これによって複数カメラの重複領域の干渉問題と調整の労力が減った一方、カメラ位置が高くなることにより照度が低下し、ビジョン映像からロボットが見えなくなる問題等が発生。さらに、我々は日本で正規サイズのフィールドを使った練習ができなかったため、ロボットの動作がサイズに適応せず不安定になったり、止まらずに暴走したりするなど、アクシデントが頻発。セットアップ二日目 3（水）も会場で 7 時半から調整を開始するも、問題山積の状況は変わらず、翌日からまともな試合ができるか不安を抱えながら 22 時半に退場。

4（木）予選初日。8 チームが登録されたディビジョン A では、各組 4 チームずつのリーグ戦が行われました。A 組には MRL（2016 優勝：イラン）、OP-AmP（豊田高専 OB）、TIGERs Mannheim（2018 第 3 位：ドイツ）、KIKS（豊田高専）が入り、初戦の相手 TIGERs Mannheim には 1-7、第二試合 MRL には 0-6 で、それぞれ敗れました。KIKS はデフェンダとキーパーの動きが安定せず、ボールを蹴ることも、ボールから離れて待機することもできない状況が続き、上位チームには完敗でした。

予選二日目 5（金）の第三試合 OP-Amp には 1-3 で惜敗し、A 組 4 位でした。6（土）のラッキールーザー戦は、B 組 3 位 RoboDragons（愛知県立大学）と ZJUNlict（2019 優勝：中国）にそれぞれ 1-3 で敗れ、8 位に終わりました。

今年の世界大会出場学生は昨年参加した 4 名と初参加の 1 名の 5 名でした。留学経験もある 5M 大野真君は、堂々と主審を務め、意見を主張するチームの仲裁や試合のまとめに尽力してくれました。初参加の 4E 杉浦悠太君も英語が飛び交う会場で、レフェリーの指示通りの確に各チームに命令を送る副審を務めてくれました。2 回目の参加となる 5E 鶴田泰隆君、内藤優星君、光岡稜真君も慣れない英語で相手チームとの交渉や対応、現地で起きた問題に対してその場でできる最善策など、迅速に取り組んでくれました。いつも思いますが、このような経験は学生の自信を養い、一回り大きく成長させる貴重な機会だと感じます。連日 22 時過ぎまで会場で対応してくれた労をねぎらうとともに彼らの努力に敬意を表します。今回、チームは今後やるべき道筋を確かめられたので一同努力を継続します。ロボカップに興味のある人は一緒にやりませんか。歓迎します。結果の詳細は下記 URL をご覧下さい。

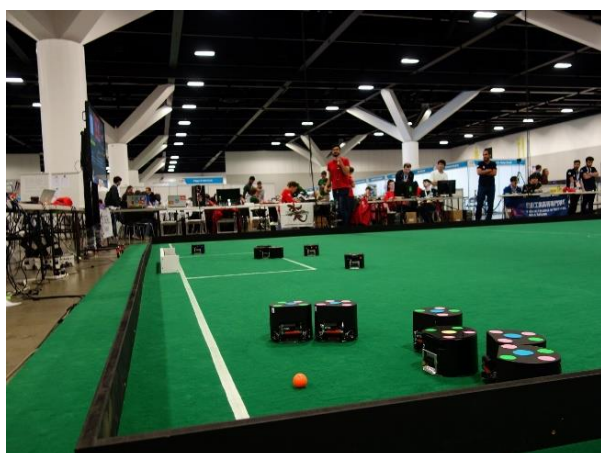
<https://ssl.robocup.org/robocup-2019-results/>



ロボカップ会場（シドニー国際会議場）



試合前の作戦会議



対 MRL（イラン）戦（予選）



TIGERs Mannheim（ドイツ）との試合後に



Aussie Beef にも挑戦



世界遺産オペラハウスに寄り道